

令和3年度 第2回 たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要

日時：令和3年9月21日（火）午後6時～7時50分

場所：女性総合センター 第2学習室

出席者：宮本直樹、秦範子、加藤寛治、三上操、鳥海清、岡部一彦、難波敦子、萩本悦久、広瀬俊夫

事務局：岡部浩昭（生涯学習推進センター長）、片川明夫（市民交流大学係長）、

加藤裕史（同係職員）、床鍋桜子（同係職員）

《当日配付資料》

- たちかわ市民交流大学企画運営委員会（第8期）委員名簿
- たちかわ市民交流大学設置要綱（令和3年7月1日改正）
- 令和3年度第1回立川市生涯学習推進審議会会議録（案）【取扱注意】
- 令和2年度 公募型団体企画型講座 事業実施報告
- 令和3～6年度 たちかわ市民交流大学事業方針（令和3年度進捗状況）
- 今後の企画運営委員会スケジュール
- きらり・たちかわ秋号（第57号）【取扱注意】
- いきいきたちかわ出前講座（令和3年6月）
- 「きらり・たちかわ たちかわ市民交流大学 活動の記録 ―令和2年度を振り返る―」（校正中）
【取扱注意】
- 令和4（2022）年度実施分 団体企画型講座の募集要項
- 市民企画講座「ゼロから始めよう主権者教育」チラシ
- 市民企画講座「多くの人が集まる講座とチラシの作り方」【未確定版】

《事前送信資料》

- 前回議事概要（案）

1 委嘱

第8期の委員へ委嘱状を交付した。

2 委員自己紹介

3 委員長・副委員長の選出

委員長に宮本委員（第7期委員長）、副委員長に秦委員（第7期副委員長）が選出された。

4 資料の確認

5 報告

（1）各委員からの報告

①市民推進委員会からの報告

- ・コロナになって1年半経つが、今年度は料理以外の講座は開催出来ている。意外と申込も多くて、欠席者が少ない。
- ・この「多くの人が集まる講座とチラシの作り方」【未確定版】は、事業方針に入っている内容なので配付した。
- ・「きらり・たちかわ」の最後のページで、宮本委員長に「たちかわ市民交流大学誕生のきっかけ」を書いてもらったので、ぜひお読みいただきたい。
- ・錦学習館で東京学芸大学と協力して実施してきたプレ錦まつりが、昨年度はコロナで中止となった。今年度はオンラインで行うことになり、その事前講座として今月「防災グッズを探そう」というのを開催した。5組ほど参加してもらおう予定だったが、実際には2・3組の参加だった。

②文化協会からの報告

- ・コロナの関係で、役員会も出来ていない。私たちは規則を守ってイベントを行わないようにしている。市のほうに苦情が行ってしまって、文化協会はなんで出来ないのかという話になってしまっていて困っている。

③生涯学習市民リーダーの会からの報告

- ・今年も「市民講師フェア」を開催する。コロナの関係で、やるのかやらないというのがあつが、20人の方の申し出があつた。11月に開催するため、選挙の関係でどうなるかまだわからないが、決まったらお知らせする。

③公募委員からの報告

- A委員：今日、上砂川小で玉川上水の話をしてきた。4日前に子どもから電話があり、今日話をしてきた。立川市民科が学校に浸透してきて、地域と学校が結びついてきた感じがする。虫も今年は、4校から申し出があつて、話に行った。
- B委員：去年からシルバー大学に入り今年で2年目になり、色々やっている。これから少しずつここで話していきたいと思う。

④副委員長からの報告

- ・今日から後期の授業が始まった。気仙沼市地区公民館の取り組みを紹介する。講師はリアスアーク美術館の学芸員さんで初めて、オンライン・対面併用のハイブリッド講座に挑戦するというので参加した。震災後に調査に入った農村地域で500世帯ほどの小さな集落だが公民館職員が、オンライン講座に挑戦し地区外にも公開して全国から参加者を集めたことは社会教育の新たな可能性だと思う。一方、福岡県久留米市で始まった「オンライン公民館」の取り組みも注目されている。これらの事例は市民交流大学でも今後参考になると思う。
- ・中央大学では社会教育主事養成課程の科目を担当している。「生涯学習支援論」で、10名の学生が市民推進委員会が企画する講座に参加してもらっている。次回会議で学生が書いた報告書を冊子にして配付したいと思う。

⑤ボランティア・市民活動センターたちかわからの報告

- ・最近、ホームページが充実してきている。フェイスブック、ツイッター、メールマガジンが浸透してきて、YouTubeも少しずつ充実してきている。

C委員：多くの高齢者の方が講座に参加していることを、中央大学の学生が見て驚きを感じていた。

委員長：これから段々と少しずつ復活していくタイミングが難しいと思う。

D委員：すごく学習する意欲があると思う。

E委員：実際やると責任問題になってしまう。

D委員：何か説明出来るようにしておく必要がある。

F委員：私たちも、講師フェアで体温を測って、電話番号を聞いてやっていた。

C委員：質問も以前はマイクを回してやっていたが、今は紙に書いてもらっている。消毒のやり方も各学習館によって違って、今行政と意識合わせをしている。

B委員：地運協の委員をやっている、文化協会の方も入っていて、文化協会はよくやっていると思う。

E委員：昨年、バレエの公演をやって、体温を測って、測った方にリボンで分かるようにした。今年はまだ何も決まっていないから困っている。

委員長：接種証明を持っていない方の学習権を、どうしていくか考えないといけない。

副委員長：ワクチンパスポートは、欧米では進んでいるが、導入するにあたってやはり学習権の保障を考えていかないといけないと思う。おそらく次のテーマになるだろう。

D委員：障害者の方はオンラインでお願いします、とかもあると思う。

副委員長：参加できない方のことを考えてやっていかなければならない。これは一つのチャンスで、障害者などがオンラインで参加出来ることは良いと思う。

(2) 事務局からの報告

① 地域学習館運営協議会

柴崎学習館：すわっ祭りが、緊急事態宣言で中止となった。7月22日から8月17日まで、「夏の平和人権上映会と展示」で、戦争に関する映画上映と展示が行われた。

砂川学習館：砂川学習館まつりが、感染症拡大を鑑みて中止。7月17日に「みんなで描こう！奏でよう！～音楽と絵のワークショップ」が開催され、国立音楽大学の学生さんのパフォーマンスなどが行われた。7月29日に、「地元発見！ブルーベリー農園♪」が開催され、農園でブルーベリーの収穫などを行った。

西砂学習館：「西砂夜間塾」、「西砂川の災害を考える」などの講座の対応について検討された。「にしすなサマーイベント」は感染症に留意して行われた。

高松学習館：文化祭が中止となり、週替わりで登録団体のミニ展示を行うことになった。

錦学習館：「プレ錦まつり」、「プレ錦まつり」のプレ企画についての話があった。8月5日に「スーパー竹とんぼを作って飛ばそう」の子ども向けの講座を開催した。

幸学習館：「ママビクス」の講座から新たな子育て支援サークルが出来た。「かわせみカフェ」については、開催方法を検討。「かわせみ祭2021」は中止で、ロバの音楽座のみ10月23日に開催予定。市民企画講座「女性のちからで共育」は、感染症拡大の状況を鑑みて中止となった。7月24日に、「子どものおやつ作り教室」が開催された。

② 配付資料の説明

・「きらり・たちかわ秋号」

本日納品された。【取扱注意】となっているのは、本来なら納品されてその日に検査して配布するのが、庁内の事情により本日検査が出来なくなり来週の月曜日になってしまった。皆様には今日お持ち帰っていただくが、一般には来週の月曜日になるので、ご了承の上お持ち帰り願いたい。配付したのは、6000部納品されたほかに、予備として預かっている一部である。

・「きらり・たちかわ活動の記録－令和2年度を振り返る－」

まだ、校正中であるが、講座数などは確定しているので、ご覧いただきたいと思う。来月の発行予定。最後に資料として講座一覧を掲載している。

- ・「たちかわ市民交流大学企画運営委員会設置要綱の一部改正」
「たちかわ市民交流大学企画運営委員会設置要綱（令和3年7月1日改正）」について、変更点（評価、団体企画）と変更理由について説明した。

③ センター長から

- ・中学生の平和事業として8月5・6日に、広島に行く予定をしていたが、東京都のコロナの感染拡大で中止することになった。派遣される生徒の家に軒一軒お詫びに行った。8月6日の朝に、8時に生徒にタブレットで式典と黙とうをするようにした。
- ・コロナの関係で、緊急事態宣言が出た当初、学習館等は閉館していたが途中から学習館として開館するべきであると考え、20時までの開館としてやってきた。

E委員：午前、午後、夜間と別れているが、削った分を他に繰り上げできないのか。

事務局：市の施設は施設毎に条例で決まっているので、変更はしづらい。

E委員：コロナだから検討してもいいのではないか。

事務局：そういうご意見があった旨を受け止めておきたい。

C委員：午後は1時から5時で4時間、夜は6時から8時で2時間なので、もう少し考えてもいいのではないかという意見もあった。

事務局：児童館、リスルホール、学供等色々あり、運営方法も違って市で把握するが難しい点もある。こういう意見もあったということを受け止めておきたい。

副委員長：学供施設とは何か。

事務局：地域の会館で、地域の方（文化協会、PTA）が指定管理として運営している。

A委員：講座一覧を色々な講座があるが、予算は市民交流大学係から出ているのか。

事務局：すべてではなく、各課の予算でやっていて、シルバー大学であれば福祉総務課、一覧の1～28の市民企画講座については市からの交付金（生涯学習推進センターの予算）、29～41の団体企画型講座も生涯学習推進センターの予算となっている。

委員長：資料3「令和3年度第1回立川市生涯学習推進審議会 会議録」についてですが、2ページに書いてあるが、企画運営委員会について報告した。協議事項は、3ページ以降ですが、各学習館の係長が出席して、各館の取組・課題事項について話してもらった。11ページに、「開催方法にかかる意向調査」の話があり、オンラインが出来ない方もいて、この後結論として、基本的には集まって開催、それが不可の場合は中止でなくオンラインとのハイブリット方式で開催となった。

副委員長：オンライン会議は、昭島、日野、国立の社会教育委員の会議で導入していると聞いている。今後は12月以降が心配だ。本市においてもオンラインの導入についても検討していく必要があるかと思う。役所内のパソコンにつないでやるのはセキュリティ問題などがあると思うので、対応できるように徐々にやっていく必要があると思う。

C委員：市民推進委員会の中では、役員会をズームでやり始めた。出来るところからやっていけば良いのかと思う。

副委員長：今月に入ってすでにピークアウトになり感染者も下降傾向だが、8月は感染者が多くて大変だった。今後は色々と考えてやっていく必要がある。

5 議事

(1) 令和3年度たちかわ市民交流大学事業方針 進捗について

委員長：資料5「令和3～6年度 たちかわ市民交流大学事業方針（令和3年度進捗状況）」に「取り組み状況」が書いてあり、その下の「成果と課題」に皆様に書いてもらうことになる。月末までにメールで事務局に送ってほしい。

A委員：5ページに空欄があるが、どうなっているのか。

事務局：西砂学習館は今年度3回やる予定で、1回は開催した。幸学習館はまだ進んでいないとのこと。高松学習館は明日の地運協で顔合わせを行うとのこと。それ以外のところは、聞いていない。

A委員：地域コーディネーターは、学校コーディネーターとは別か。

事務局：地域学校コーディネーターなので、同じである。

C委員：西砂で1回やったが、コーディネーターさんから良い話が聞けて良かった。

副委員長：各学習館に対応する学校が何校あるかがわかると、コーディネーターの状況がわかってこちら書きやすい。

委員長：生涯審でも前回の会議で、この話の詳しい話し合いがあった。次回の会議で会議録が出てくると思う。

A委員：コーディネーターは生涯学習推進センターが委嘱するのか。

事務局：生涯学習推進センターが委嘱している。

委員長：実態としては、学校側が候補者を選出してきて、センターが委嘱しているのではないか。

事務局：校長先生が色々調整している。校長が変わってしまうと変わってしまうこともある。

C委員：そういう意味では、コーディネーターは学校や地域によって個々に違う感じがすると思う。

F委員：学校ではそれぞれの校長先生によって違ったりするので、どうかと思う。

副委員長：三人コーディネーターがいたら、一人は調整役みたいにやってみるのも良いと思う。

D委員：コーディネーターの選ぶ基準は、あるのか。

G委員：誰でも良いし、地域の方、PTAなどの方でも良いが、校長先生はよく変わるので変わってしまうことがある。

事務局：昨年からコーディネーターの集まりを、行ってはいる。それまでは指導課で行っていて、生涯学習推進センターで昨年からはやるようになって、ワークショップなどをやるようにした。

委員長：コーディネーターするというが、わかっていない方もいると思う。

6 その他

(1) 次回の会議日程について

令和3年12月21日（火）18：00～ 女性総合センター 第2学習室

以上